



様式第1号の1

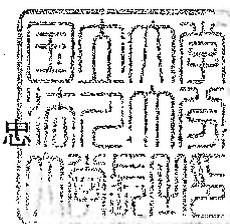
大分大学医学部収容定員変更関係設置計画書

平成20年3月28日

文部科学大臣 殿

国立大学法人大分大学長

羽野



このたび、大分大学医学部の収容定員を変更したいので、別紙書類を添えて提出します。

なお、変更の際は、確実に提出した計画を履行します。

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	医学部の収容定員変更							
フリガナ設置者	コリダガクイカクジツ 材イダガクイ 国立大学法人 大分大学							
フリガナ大学の名称	材イダガクイ 大分大学 (Oita University)							
大学本部の位置	大分県大分市大字巨野原700番地							
大学の目的	<p>本学は、人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することを目的とする。</p>							
新設学部等の目的	<p>大分県は、平成19年度から始まった学士編入学（第2年次後学期）を対象とした奨学金制度とは別に、平成21年度から入学する医学科新入生を対象とした奨学金制度を新たに設けることを決定し、これを受け、本学医学部では県内に医師を定着させる方策の一つとして、医学部医学科の入学定員増を図るものである。</p>							
新設	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
部	教育福祉科学部 [Faculty of Education and Welfare Science]							
	学校教育課程 [School Education Course]	4	100	-	400	学士 (教育)		
	情報社会文化課程 [Computer Science, Society and Culture Course]	4	50	-	200	学士 (教養)		
	人間福祉科学課程 [Human Society and Welfare Science Course]	4	95	-	380	学士 (教養)		
	経済学部 [Faculty of Economics]							
	経済学科 [Department of Economics]	4	130		520	学士 (経済学)		
	経営システム学科 [Department of Business Studies]	4	130	-	520	学士 (経済学)		
	地域システム学科 [Department of Regional Studies]	4	45	-	180	学士 (経済学)		
	(編入学)			3 10	20	学士 (経済学)		
	医学部 [Faculty of Medicine]							
	医学科 [School of Medicine]	6	90 (85)	2 10	590 (560)	学士 (医学)	平成21年4月 第1年次	大分県由布市挾間町 医大ヶ丘1丁目1番地
	看護学科 [School of Nursing]	4	60	3 10	260	学士 (看護学)		
	工学部 [Faculty of Engineering]							
	機械・エネルギーシステム工学科 [Department of Mechanical and Energy Systems Engineering]	4	80	-	320	学士 (工学)		
	電気・電子工学科 [Department of Electrical and Electronic Engineering]	4	80	-	320	学士 (工学)		
	知能情報システム工学科 [Department of Computer Science and Intelligent Systems]	4	70	-	280	学士 (工学)		
応用化学科 [Department of Applied Chemistry]	4	60	-	240	学士 (工学)			
福祉環境工学科 [Department of Welfare Engineering]	4	80	-	320	学士 (工学)			
(編入学)			3 10	20	学士 (工学)			

医学部医学科の定員増は平成23年度までとする。

等 の 概 要	教育学研究科(修士課程) [Graduate School of Education](Master Course)							
	学校教育専攻 [School Education]	2	6	-	12	修士 (教育学)		
	教科教育専攻 [Subject Teaching]	2	33	-	66	修士 (教育学)		
	経済学研究科(博士前期課程) [Graduate School of Economics](Master Course)							
	経済社会政策専攻 [Economic and Social Policy]	2	8	-	16	修士 (経済学)		
	地域経営政策専攻 [Community and Business Management]	2	12	-	24	修士 (経済学)		
	経済学研究科(博士後期課程) [Graduate School of Economics](Doctor Course)							
	地域経営専攻 [Business Administration and Regional Governance]	3	3	-	9	博士 (経済学)		
	医学系研究科(修士課程) [Graduate School of Medicine](Master Course)							
	医科学専攻 [Medical Science]	2	15	-	30	修士 (医科学)		
	看護学専攻 [Nursing]	2	16	-	32	修士 (看護学)		
	医学系研究科(博士課程) [Graduate School of Economics](Doctor Course)							
	医学専攻 [Medical Science]	4	30	-	120	博士 (医学)	平成20年4月 第1年次	
	工学研究科(博士前期課程) [Graduate School of Engineering](Master Course)							
	機械・エネルギーシステム工学専攻 [Mechanical and Energy Systems Engineering]	2	27	-	54	修士 (工学)		
	電気電子工学専攻 [Electrical and Electronic Engineering]	2	27	-	54	修士 (工学)		
	知能情報システム工学専攻 [Computer Science and Intelligent Systems]	2	24	-	48	修士 (工学)		
	応用化学専攻 [Applied Chemistry]	2	21	-	42	修士 (工学)		
	建設工学専攻 [Architectural]	2	15	-	30	修士 (工学)		
	福祉環境工学専攻 [Human Welfare]	2	21	-	42	修士 (工学)		
	工学研究科(博士後期課程) [Graduate School of Engineering](Doctor Course)							
	物質生産工学専攻 [Materials Science and Production Engineering]	3	6	-	18	博士 (工学)		
	環境工学専攻 [Energy and Environmental Engineering]	3	6	-	18	博士 (工学)		
	福祉社会科学研究科(修士課程) [Graduate School of Social Service Administration] (Master Course)							
	福祉社会科学専攻 [Social Service Administration]	2	12	-	24	修士 (福祉社会科学)		
	計	-	1,352 (1,347)	-	5,209 (5,179)			
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行、 名称の変更等)	該当なし							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	単位	
		講義	演習	実験・実習	計			
		科目	科目	科目	科目			

教 員 組 織 の	新	学部等の名称	専任教員等					助手	兼任 教員	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。	
			教授	准教授	講師	助教	計				
			人	人	人	人	人				
員	教	教育福祉科学部 学校教育課程	35 (35)	24 (24)	4 (4)	1 (1)	64 (64)	0 (0)	11 (11)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。	
		情報社会文化課程	9 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	5 (5)		
		人間福祉科学課程	10 (10)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	10 (10)		
		計	54 (54)	35 (35)	6 (6)	1 (1)	96 (96)	0 (0)	24 (24)		
	員	員	経済学部 経済学科	12 (12)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	1 (1)	34 (34)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。
			経営システム学科	11 (11)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	1 (1)	34 (34)	
			地域システム学科	12 (12)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	20 (20)	1 (1)	37 (37)	
			計	35 (35)	22 (22)	2 (2)	0 (0)	59 (59)	3 (3)	41 (41)	
	組	組	医学部 医学科	42 (42)	28 (28)	4 (4)	71 (71)	145 (145)	0 (0)	106 (106)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。
			看護学科	11 (11)	3 (3)	3 (3)	7 (7)	24 (24)	3 (3)	23 (23)	
			計	53 (53)	31 (31)	7 (7)	78 (78)	169 (169)	3 (3)	126 (126)	
			工学部 機械・エネルギーシステム工学科	8 (8)	7 (7)	1 (1)	5 (5)	21 (21)	1 (1)	7 (7)	
	織	織	電気・電子工学科	10 (10)	7 (7)	1 (1)	6 (6)	24 (24)	1 (1)	7 (7)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。
			知能情報システム工学科	9 (9)	5 (5)	2 (2)	6 (6)	22 (22)	0 (0)	3 (3)	
			応用化学科	5 (5)	8 (8)	0 (0)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	7 (7)	
			福祉環境工学科	12 (12)	11 (11)	1 (1)	4 (4)	28 (28)	2 (2)	15 (15)	
			計	44 (44)	38 (38)	5 (5)	26 (26)	113 (113)	4 (4)	39 (39)	
			教育学研究科(修士課程) 学校教育専攻	7 (7)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	2 (2)	
			教科教育専攻	45 (45)	20 (20)	5 (5)	0 (0)	70 (70)	0 (0)	0 (0)	
	計	52 (52)	30 (30)	5 (5)	0 (0)	87 (87)	0 (0)	2 (2)			
	の	の	経済学研究科(博士前期課程) 経済社会政策専攻	13 (13)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	4 (4)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。
			地域経営政策専攻	18 (18)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	1 (1)	
			計	31 (31)	21 (21)	1 (1)	0 (0)	53 (53)	0 (0)	5 (5)	
			経済学研究科(博士後期課程) 地域経営専攻	13 (13)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	
	の	の	医学系研究科(修士課程) 医科学専攻	47 (47)	33 (33)	6 (6)	0 (0)	86 (86)	0 (0)	2 (2)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。
			看護学専攻	11 (11)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	12 (12)	
			計	58 (58)	36 (36)	9 (9)	0 (0)	103 (103)	0 (0)	14 (14)	
医学系研究科(博士課程) 医学専攻			47 (47)	33 (33)	6 (6)	0 (0)	86 (86)	0 (0)	2 (2)		
の	の	工学研究科(博士前期課程) 機械・エネルギーシステム工学専攻	8 (8)	7 (7)	1 (1)	5 (5)	21 (21)	0 (0)	3 (3)	各学科の兼任 教員数に学科 共通の数を含 む。 計は実数。	
		電気・電子工学専攻	10 (10)	7 (7)	0 (0)	6 (6)	23 (23)	1 (1)	1 (1)		
		知能情報システム工学専攻	9 (9)	5 (5)	2 (2)	5 (5)	21 (21)	0 (0)	1 (1)		
		応用化学専攻	5 (5)	8 (8)	0 (0)	3 (3)	16 (16)	0 (0)	1 (1)		
		建設工学専攻	6 (6)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	3 (3)		
		福祉環境工学専攻	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	2 (2)		
		計	44 (44)	35 (35)	3 (3)	22 (22)	104 (104)	1 (1)	5 (5)		

概	工学研究科（博士後期課程） 物質生産工学専攻		21 (21)	17 (17)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	0 (0)
	環境工学専攻		18 (18)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	0 (0)
	計		39 (39)	27 (27)	0 (0)	0 (0)	66 (66)	0 (0)	0 (0)
	福祉社会科学研究科（修士課程） 福祉社会科学専攻		1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	6 (6)
	計		1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	6 (6)
	小計		471 (471)	315 (315)	44 (44)	127 (127)	957 (957)	11 (11)	264 (264)
	該当なし		()	()	()	()	()	()	()
	小計		()	()	()	()	()	()	()
	合計		471 (471)	315 (315)	44 (44)	127 (127)	957 (957)	11 (11)	264 (264)
	要		職種		専任	兼任	計		
教員以外の職員の概要		事務職員		241人 (241)	13人 (13)	254人 (254)			
		技術職員		604 (604)	0 (0)	604 (604)			
		図書館専門職員		7 (7)	0 (0)	7 (7)			
		その他の職員		30 (30)	1 (1)	31 (31)			
		計		882 (882)	14 (14)	896 (896)			
校		区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
地		校舎敷地	347,803㎡	0㎡	0㎡	347,803㎡			
等		運動場用地	88,682㎡	0㎡	0㎡	88,682㎡			
		小計	436,485㎡	0㎡	0㎡	436,485㎡			
		その他	393,268㎡	0㎡	0㎡	393,268㎡			
		合計	829,753㎡	0㎡	0㎡	829,753㎡			
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
		109,620㎡ (109,620㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	109,620㎡ (109,620㎡)				
教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		73室	134室	308室	13室 (補助職員 3人)	3室 (補助職員 0人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				
		大学全体			403室				
図書・設備		新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
		大学全体	803,551〔221,788〕 (803,551〔221,788〕)	17,308〔4,515〕 (17,308〔4,515〕)	4,943〔4,943〕 (4,943〔4,943〕)	3,017 (3,017)	98 (98)	0 (0)	
		計	803,551〔221,788〕 (803,551〔221,788〕)	17,308〔4,515〕 (17,308〔4,515〕)	4,943〔4,943〕 (4,943〔4,943〕)	3,017 (3,017)	98 (98)	0 (0)	
図書館		面積	閲覧座席数		収納可能冊数				
		5,994㎡	678		606,806				
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		5,307㎡	野球場2面、陸上競技場2面、ラグビー場1面、テニスコート17面、50mプール2、武道場2、剣道場1、弓道場2、課外活動共用施設						
経費の見積り及び維持方法の概要		区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要							

既設	大 学 の 名 称		国立大学法人大分大学							所在地
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
大	教育福祉科学部						1.09		大分県大分市 大字旦野原700番地	
	学校教育課程	4	100	-	400	学士 (教育)	1.09	平成15 年度		
	情報社会文化課程	4	50	-	200	学士 (教養)	1.10	平成15 年度		
	人間福祉科学課程	4	95	-	380	学士 (教養)	1.09	平成15 年度		
	経済学部						1.09		大分県大分市 大字旦野原700番地	
	経済学科	4	130	-	520	学士 (経済学)	1.09	平成15 年度		
	経営システム学科	4	130	-	520	学士 (経済学)		平成15 年度		
	地域システム学科	4	45	-	180	学士 (経済学)		平成15 年度		
	(編入学)			3 10	20	学士 (経済学)	0.85			
	医学部						0.99		大分県由布市狭間町 医大ヶ丘1丁目1番地	
医学科	6	85	2 10	560	学士 (医学)	1.00	平成15 年度			
看護学科	4	60	3 10	260	学士 (看護学)	0.99	平成15 年度			
大	工学部						1.09		大分県大分市 大字旦野原700番地	
	機械・材料・システム工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.08	平成15 年度		
	電気・電子工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.07	平成15 年度		
	知能情報システム工学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.10	平成15 年度		
	応用化学科	4	60	-	240	学士 (工学)	1.11	平成15 年度		
	福祉環境工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.11	平成15 年度		
	(編入学)			3 10	20	学士 (工学)	1.15			
	教育学研究科						1.12		大分県大分市 大字旦野原700番地	
	(修士課程)									
	学校教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	2.16	平成15 年度		
教科教育専攻	2	33	-	66	修士 (教育学)	0.93	平成15 年度			
等	経済学研究科						1.12		大分県大分市 大字旦野原700番地	
	(修士課程)									
	経済社会政策専攻	2	8	-	16	修士 (経済学)	1.06	平成15 年度		
	地域経営政策専攻	2	12	-	24	修士 (経済学)	1.16	平成15 年度		
	(博士後期課程)									
	地域経営専攻	3	3	-	9	博士 (経済学)	1.16	平成19 年度		
	医学系研究科						0.81		大分県由布市狭間町 医大ヶ丘1丁目1番地	
	(修士課程)									
	医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.76	平成15 年度		
	看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	1.03	平成15 年度		
の	(博士課程)									
	医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	1.23	平成20 年度		
	工学研究科						1.11		大分県大分市 大字旦野原700番地	
	(博士前期課程)									
	機械・材料・システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.14	平成15 年度		
	電気・電子工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.10	平成15 年度		
	知能情報システム工学専攻	2	24	-	48	修士 (工学)	1.14	平成15 年度		
	応用化学専攻	2	21	-	42	修士 (工学)	1.23	平成15 年度		

学科振り分けは、3年進級時に行う。

状	建設工学専攻	2	15	-	30	修士 (工学)	0.96	平成15 年度	
	福祉環境工学専攻	2	21	-	42	修士 (工学)	0.83	平成15 年度	
	(博士後期課程)								
	物質生産工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	1.21	平成15 年度	
	環境工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	1.16	平成15 年度	
	福祉社会科学研究所						0.83		大分県大分市 大字旦野原700番地
	(修士課程)								
	況	福祉社会科学専攻	2	12	-	24	修士 (福祉社会科学)	0.83	平成15 年度
附属施設の概要	<p>名称：医学部附属病院 目的：「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、高度先進医療の開発と提供をとおして、倫理観豊かな医療人を育成し、地域社会の福祉に貢献する。 所在位置：大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 設置年月日：昭和56年4月 規模等：43,013 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：附属学校（小学校、中学校、幼稚園、特別支援学校） 目的：小学校教育、中学校教育、幼稚園教育、特別支援教育 所在位置：大分県大分市王子新町1番1号 設置年月日：平成20年4月 規模等：18,608 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：学術情報拠点 目的：学術情報の整備・充実とその高度化に努め、図書、学術雑誌その他必要な資料と情報システム報ネットワークを本学の教職員、学生の利用に供することにより教育・研究の進展を図り、地域社会への学術情報の提供と公開及び情報化支援などを通じて社会との連携の推進を資する。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地、大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番 設置年月日：平成20年4月 規模等：7,781 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：地域共同研究センター 目的：民間企業や公的試験・研究機関との共同研究の受入れ及び支援、各種講演会の開催 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成5年4月 規模等：1,138 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：総合科学研究支援センター 目的：大分大学における学内共同教育研究施設として、教育及び研究の向上並びに発展に資することを目的とする。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地、大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番 設置年月日：平成15年4月 規模等：1,295 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：国際教育研究センター 目的：留学生への日本語・日本事情教育及び修学・生活上の指導助言。また、本学学生に対して留学に関する情報提供や指導助言、国際理解教育を行うことによる国際交流推進への寄与。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成12年5月 規模等：132 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：ベンチャービジネスラボラトリー 目的：大学院学生を中心とした若手研究者の柔軟な発想を生かし、高度の専門的職業能力を有し、ベンチャー精神に富んだ創造的な人材の育成を図り、併せて新技術・新産業の創出と地域産業の活性化に貢献すること。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成11年4月 規模等：1,499 m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：福祉科学研究センター 目的：学内及び学外の関係機関と連携を図り、福祉科学に関する理論的な深化・発展をめざす調査・研究を行うとともに、実践的な人材養成を支援するための諸活動を行い、地域社会の福祉の増進に寄与する。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成10年4月 規模等：25m²</p>								
附属施設の概要	<p>名称：先端医工学研究センター 目的：福祉を核とした医工連携を開発・発展させ、国民の健康障害の克服とQOLの向上を目指す。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成17年4月 規模等：59 m²</p>								

<p>附属施設の概要</p>	<p>名 称：高等教育開発センター 目 的：高等教育・生涯学習に関する調査・研究及び教育事業を積極的に推進し、大分大学における教育及び地域社会の発展に寄与する。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成20年4月 規 模 等：111m²</p>	
<p>附属施設の概要</p>	<p>名 称：附属教育実践総合センター 目 的：教育実践開発分野（教育実践研究領域・教育情報システム領域）と発達教育臨床分野（教育臨床心理領域・発達障害臨床領域）の2分野4領域における、学部附属共同研究・教育実習等の各種事業の推進。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成13年4月 規 模 等：527 m²</p>	
<p>附属施設の概要</p>	<p>名 称：附属医学教育センター 目 的：医学教育及び看護学教育並びに入学者選抜方法に関する総合的な研究・開発を行い、本学部の医学・医療教育の発展・向上を図ることを目的とする。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：平成17年4月 規 模 等：19 m²</p>	
<p>附属施設の概要</p>	<p>名 称：保健管理センター 目 的：学生及び教職員の保健管理等。産業保健活動等。 所在位置：大分県大分市大字旦野原700番地 設置年月日：昭和49年4月 規 模 等：736 m²</p>	

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類

国立大学法人大分大学

a 収容定員変更の内容

医学部医学科の入学定員を、平成21年度から平成23年度までの間において5人増加し、95人を100人へ変更する。(2年次編入学定員10人を含む。)

また、収容定員を560人から590人へ変更する。

なお、定員増の5人については、大分県単独の医師確保緊急対策事業の見直し年度が平成24年度になっていることを考慮して、平成23年度に平成24年度以降の収容定員について見直しを行うこととする。

b 収容定員変更の必要性

地域に関する関係省庁連絡会議(総務省、文部科学省、厚生労働省 平成19年8月30日)において、医師確保のための総合的な対策が取りまとめられ、平成21年度から最大9年間、将来の医師の養成を前倒しするとの趣旨の下、都道府県ごとに最大5名を限度として、現行の都道府県内の医師の養成数に上乗せする暫定的な調整の計画を容認する旨が確認された。

大分県の医師数は、人口10万人あたりでは、226.6人と、全国平均の201.1人を上回っているが、10医療圏のうち7医療圏で全国平均を下回っており、県内の一部を除く地域が医師不足の状況にある。

特に、小児科及び産科医療の分野における医師不足は厳しい状況にあり、医療圏内に小児科医、産科医が1名から3名しかいない医療圏が、それぞれ4医療圏あり、早急な対策が求められている。

更に、地域医療を支えるべき地医療拠点病院10施設のうち、小児科医不在の病院が4施設あり、産婦人科にいたっては、産婦人科医のいるべき地医療拠点病院は公立おがた総合病院しかなく、危機的な状況にある。(下表参照)

これらのことを受け、本学と大分県との間において互いに連携・協力し、大分県内に医師を定着させる方策の一つとして、本学医学部医学科の定員増を図ることとした。

【へき地医療拠点病院における小児科医と産科医の数】

病 院 名	小児科医	産科医	病 院 名	小児科医	産科医
国東市民病院	2人	0人	健康保険南海病院	2人	0人
宇佐高田医師会病院	0人	0人	県立三重病院	2人	0人
公立おがた総合病院	2人	1人	コスモス病院	0人	0人
大分県済生会日田病院	2人	0人	佐賀関病院	0人	0人
津久見中央病院	0人	0人	杵築市立山香病院	1人	0人
			平 均	1人	0人

C 収容定員変更に伴う教育課程の変更内容

1. 入学者選抜段階における取組の推進

地域枠の設定・拡大及び推薦入学における工夫については別紙1～4のとおり。

(1) 取組概要

平成21年度から推薦入試に5名の地域枠を設定する。

平成22年度入試から、後期日程を廃止し、前期日程へ移行する。また、推薦入試を廃止し、AO入試を導入する。

(2) 面接の工夫

地域枠では、地域医療に関する資料等によりグループ討議をさせる。平成22年度のAO入試(地域枠)では、へき地医療拠点病院での実習を義務づけるなど選抜方法等の改善を行う。

2. 学部教育における取組・改善等

(1) 学部教育における取組の推進(詳細は別紙5のとおり)

地域医療に関するカリキュラムの充実

)平成20年度から、イントロダクトリー・コース(新入生導入教育)の健康科学概論の授業に「大分県の地域医療の現状と問題」について、大分県福祉保健部医務課の職員による2時間の講義を実施

)早期体験学習

a)現在はイントロダクトリー・コースの早期体験実習で3日間、イントロダクトリー・コース(専門課程導入教育)の生命科学・病院内実習で10時間を実施

b)新たに大学病院外来案内ボランティア(授業開始前の朝8:00～9:00)を実施
毎日5人程度が交代し、屋根瓦方式で2年次生2人が新入生を指導

)基礎・臨床医学教育でのカリキュラム改革

a)新たにチュートリアル教育の社会医学コースで地域保健・医療に関し2時間の講義を実施

b)新たにイントロダクトリー・コース(臨床実習前導入教育)の社会医療で地域保健・医療に関し6時間の講義を実施

(2) 学部教育の改善等に当たっての地域の医療機関との連携の推進(詳細は別紙5のとおり)

地域医療と接する機会の提供・・・県による接する場の提供

)へき地医療への関心を持たせるよう、大分県へき地医療支援機構が主催する「地域医療研修会(医学生診療所体験研修)」への参加を2年次～4年次に積極的に働きかける(地域枠の学生は必修)

- ）臨床実習（2週間：1単位）を地域の病院で実施
6年次7月に行う選択実習2週間を全て学外で実施
単位の認定は実習担当医とも協議して行う
- 地域医療に関する情報の提供・・・県による情報の提供
 - ）大分県地域医療研修会への説明会を複数回企画する
 - ）カリキュラム改革での地域保健・医療に関する講師の依頼
- a) チュートリアル教育の社会医学コース：大分県へき地医療支援機構職員
- b) イントロダクトリー・コース の社会医療：大分県へき地診療所・へき地医療拠点病院の医師

(3) 卒前・卒後を通じた，地域医療に関する教育体制

大分大学医学部では、「医学教育及び看護学教育並びに入学者選抜方法に関する総合的な研究・開発を行い，医学部の医学・医療教育の発展・向上を図ること。」を目的として，平成17年4月に医学教育センターを設置した。同センターでは，卒前教育と卒後教育との連携で，大分大学の医学教育や臨床実習の一貫性を理解させ，卒業生の多くが大分県に留まり，大分県地域医療での戦力になることを期待している。

なお，地域医療学などの，卒前・卒後を通じた地域医療に関する教育を担う担当講座を持っていないが同センターで，現有する教育資源を用いて効率よく地域医療を教育する体制を整備するよう努力している。

卒前の学生及び卒後臨床研修医に地域医療の現状と問題点を強く認識させるための方策として，現在，大分県の首長である大分県知事による講義「大分県の地域医療の現状・問題点（案）」を実施していただく予定である。

【医学科学生に新たに実施する地域医療関連教育】

- 大分県地域医療の現状と課題の講義（1年次）
- 早朝外来ボランティア実習（1，2年次）
- へき地医療拠点病院・へき地診療所医師による地域医療教育（4年次）
- 大分県福祉保健部医務課地域医療班による地域医療教育（4年次）
- 大分県へき地医療拠点病院，へき地診療所医療実習（1週間，6年次，1単位）
- 大分県地域医療研修会参加によるへき地医療実習（1年次～6年次）

【臨床研修医などの卒後研修に新たに実施する地域医療関連教育】

- 大分県内の全てのへき地医療拠点病院を地域保健・医療研修施設として，地域医療研修を促進
- 新研修医オリエンテーションに大分県福祉保健部医務課地域医療班講師による地域医療教育を実施
- 卒後臨床研修セミナーにへき地医療拠点病院・へき地診療所の医師による地域医療教育を追加

3. 大分県の実施する奨学事業の概要

既実施事業	今回新たに行う事業
1. 事業名 大分県医師修学資金	1. 事業名 大分県医師修学資金
2. 対象 地域枠学士編入学者	2. 対象 地域枠推薦入学者等
3. 貸与額 ・入学料及び授業料に相当する額 ・生活費 月額 15 万円	3. 貸与額 ・入学料及び授業料に相当する額 ・生活費 月額 5 万円
4. 返還の免除 貸与を受けた期間の 1.5 倍を義務期間とし、この期間に大分県知事の指定する医療機関において医師として勤務した場合、全額返還免除とする。	4. 返還の免除 貸与を受けた期間の 1.5 倍（9 年間）を義務期間とし、この期間に大分県知事の指定する医療機関において医師として勤務した場合、全額返還免除とする。
5. その他 平成 19 年度編入学から実施	5. その他 平成 21 年度入学者から実施

4. その他地域定着策のための取組

(1) 卒後の臨床研修・専門医研修での取組み

現在の取組み

卒後臨床研修の 2 年間

1 年次研修時に大学病院以外に 11 の地域中核病院の選択が可能である。このうち 3 病院（国東市民病院，健康保険南海病院，大分県済生会日田病院）は県のへき地医療拠点病院に指定されている。2 年次には選択期間を設け，大分市や別府市など都市部に存在する病院に限らず大分県内に広く存在する 44 の地域病院の協力を得，地域医療と臨床研修の融合を図っている。このうち 11 病院は県のへき地医療拠点病院であり，へき地診療所も 4 カ所含まれている。また 2 年次の必修研修では地域保健・医療（保健所や介護施設など）を実施している。

専門医研修

従来より各地域病院に対して大学病院の各診療科毎に 10～90 名規模の派遣を行っており，派遣先病院での若手医師の受入れ体制及び専門医研修の充実化を図っている。

研修医教育

研修医を教育する指導医を大分県全体で養成する目的で，平成 18 年 4 月「大分県医師臨床研修指導医講習会開催実行委員会」を設立した。大分県内の管理型臨床研修病院において合同で，大分県医師臨床研修指導医講習会を定期的に開催し，より質の高いプログラム及び研修教育を実施できる指導医の養成に努めている。

今後の取り組み

卒後臨床研修で地域のより多様なへき地医療機関で研修

大分県へき地医療支援機構とも協議し、研修可能な医療機関を追加する。

現在へき地医療拠点病院の佐賀関病院は病院群に入っていない

現在18ある、へき地診療所等のうち病院群に入っているのは4カ所（姫島村国民健康保険診療所，中津市国民健康保険山移診療所，九重町飯田高原診療所，佐伯市国民健康保険西野浦診療所）だけ

生涯学習の場の提供

現行の卒後臨床研修医のための講義は、学部生・医員・大学院生に開放されている。

- 1) 県内の医師にも開放する
- 2) ホームページで予定を明確に伝達する
- 3) 講義を撮影しハンドアウトと共にホームページに置きいつでも聴講可能にする

(2) 医師の派遣・紹介の取組み

初期・後期臨床研修医数の推移



初期・後期臨床研修医確保対策として臨床研修センター設置による臨床研修環境の改善，医学教育センター・臨床研修センター共同での地域医療教育，院内保育園設置による女性研修医確保対策，連携病院共同県内臨床研修説明会による県内研修の増加対策を行い，平成19年度は初期・後期臨床研修共に40人を確保した。

現在の取り組み

これまで大分大学医学部は，地域医療支援医師の養成機関として地域医療に貢献し，県内における人口10万当たりの病院・病床数は全国平均を大きく上回るようになったが，その60%が大分市，別府市を中心とする保健医療圏に集中し，大分県内の人口減少とあいまって，医師・医療機関の地域による偏在，領域による偏在が起り，一部地域で医師不足が出現している。

現在、地域医療機関から医師紹介要請があった場合、大学病院全体として“大分大学医学部附属病院医師の紹介要請等に関する申し合わせ”に基づいて検討しているが、平成16年度より卒後臨床研修制度の変更での影響は大きく、大学病院の医師派遣機能が崩壊した。しかし、平成19年度は後期臨床研修で40人以上の医師数を確保でき改善の兆しが見えておりこの傾向が5年間続けば大学附属病院の機能は改善すると考えられる。

また、領域による偏在では小児科・産婦人科の医師不足に関して、大分県からの財政的援助が平成19年10月より開始されており、後期臨床研修で小児科・産科婦人科の選択者には最大15万円/月×3年間の研修奨励金の賦与がなされている。更に、平成20年4月よりへき地医療拠点病院で診療する医師への国内外施設での研修・研究留学支援策も計画されている。

今後の取り組み

平成20年4月から、小児科・産婦人科医師不足の早期解消及び継続的・安定的な確保を図ることを目的として、大分県からの委託事業「おおいた地域医療支援システム構築事業」を受け、本学の指導医が地域中核病院で後期研修医への指導及び外来診療を行い、地域密着型後期研修プログラムの研究開発を行う。地域の病院で安心して後期研修を受けられる研修プログラム及び地域の病院が医師を確保しやすい環境を整備することにより、両領域の医師の継続的・安定的な確保を目指す。

以上の対策に関して、県内よりの入学者増加が5～10年間続けば大学附属病院の医師派遣機能及び地域医療を支える機能の回復に大きく貢献できると考える。

(3) 女性医師定着策

現在の取り組み

平成19年7月から院内保育園を開設した。

平成20年3月1日現在の収容者数21名、保護者の内訳：医師7名(うち女性医師5名)、看護師10名、その他4名

複数の診療科(内科、外科、麻酔科など)で、育児中の女性医師に対して、勤務時間の短縮及び緊急呼び出しや当直業務の免除等の独自の勤務支援体制を導入している。平成17年度から泌尿器科、循環器内科、総合診療部などに女性専用外来を、平成19年度からは漢方薬の処方を行う漢方外来を開設した。女性医師が、これらの外来診療に携わることで医師としてのキャリア向上にも役立っている。

医学部学生に対して、東洋医学(年8コマ16時間)や性差医療(年1コマ2時間)に関する教育を行い、関心を高めている。

診療科単位で、女性医師のための勉強会(症例検討及び特別講師を招いてのセミナー)を開催している。(内科第1では、年2回開催)時には、学生や研修医の参加もあり、情報交換の場としての意義も大きい。

今後の取り組み

妊娠や育児期間に合わせた弾力的な勤務体系（ワークシェアリングやフレックスタイム制等）を導入し，病院全体として女性医師の働きやすい職場環境の実現を目指す。出産・育児等で離職中の医師の復帰支援を目的とした再教育プログラムの開発・実践を行う。地域医療機関と協力・連携することにより，地域医療にも貢献できる。院内保育園の延長保育は現在 20 時までであるが，育児中の女性医師が常勤医としての勤務が容易となるよう，今後 24 時間の保育体制及び病児保育の導入についても検討する。

医学部学生に対して，現場で働く女性医師を講師に招いた講演会等を開催し，学生時代から医師として働き続ける心構えを持たせ，キャリア継続が可能であることの情報を提供する。このような教育は女子学生のみでなく，将来パートナー或いは同僚となる可能性の高い男子学生に対しても重要である。

大分県医師会では平成 18 年 10 月に「大分県医師会大分女性医師の会」を設立し，平成 19 年度までに総会及び講演会を 2 回開催した。平成 20 年度からは，医師会とタイアップし女性医師のみならず女子学生に対し就職支援事業やキャリアアップのためのセミナーや勉強会を企画する。

医学部医学科入学定員について（案）

現 行		改 正	
		平成 2 1 年度	
推薦入試	2 0	推薦入試	2 0 2 5 (地域枠 5)
前期日程	4 0	前期日程	4 0
後期日程	2 5	後期日程	2 5
学士編入学	1 0 (地域枠 3)	学士編入学	1 0 (地域枠 3)
合 計	9 5	合 計	9 5 1 0 0
		平成 2 2 年度 ~	
		A O 入試	0 3 0 (地域枠 5)
		推薦入試	2 5 0
		前期日程	4 0 6 0
		後期日程	2 5 0
		学士編入学	1 0 (地域枠 3)
		合 計	1 0 0 1 0 0
		学校推薦 自己推薦へ 大学入試センター試験の成績で，第 1 次 選考を行う	

今回の地域枠に係る定員 5 名については，学士編入学の募集要項と同様の募集を行い，入学後の学生には大分県の医師修学資金が貸与される。

大分県による医師修学資金は，卒業後，大分県の指定する医療機関において一定期間（9 年間）医師の業務に従事した場合には，全学返還を免除できる。

【後期日程廃止に伴う問題点】

メリット

- 1 前期日程と後期日程は共に類似した選抜方法を取っており、合格者の入学後の学力もほぼ類似しているが、学年の進行に伴い前期日程入学者が成績上位20位に入る割合が増える傾向にある。

後期日程を廃止しても学生の質は確保できる。

(平成19年度調査資料)

成績上位者の割合	合計	第1年次 生進級判定	第2年次 第修学期認定	第3年次 第修学期認定	第4年次 第修学期認定	第4年次 第修学期認定
前期日程	0.235	0.275	0.275	0.150	0.250	0.225
後期日程	0.207	0.400	0.167	0.200	0.133	0.167

前期日程(センター試験+個別学力試験:英・数・国)

後期日程(センター試験+個別学力試験:総合問題+個人面接)

その他、推薦入試、学士編入学試験で入学者を選抜している。

- 2 後期日程を廃止することで、新たに導入する地域枠を含むAO入試実施に伴う丁寧な面接を行うための要員・時間の確保が可能となる。

デメリット

後期日程を廃止することで、受験生の受験の機会を減らすことになるが、推薦入試をAO入試に切り替えることで、高等学校長の推薦書がなくても自己推薦で受験できるようにした。

【AO入試導入に伴う問題点】

メリット

- 1 医学、特に地域医療を志す受験生の中から、学力試験に加え丁寧な面接を行い、大学が求めている学生を選抜できる。
- 2 自己推薦を基本としており、受験生に広く門戸が開放される。
- 3 先進的の大学(旭川医科大学や高知大学など)からの報告では、勉学や社会活動に積極的に取り組む学生が入学することが期待される。

デメリット

- 1 従来の推薦入学試験より多くの受験生が応募することが予想され、手続き等に時間と労力を要する。
- 2 丁寧な面接を含む選抜試験を実施するため、入試実施者の負担が大きくなることが予想される。

平成 2 1 年度特別選抜（推薦入学）（案）

	事 項	備 考
募集人員	25名（一般枠20名，地域枠5名）	
推薦人員	各高等学校から各6名以内 （一般枠3名以内，地域枠3名以内）	
出願資格	平成21年3月卒業見込みの者 本学が指定した大学入試センターの教科・科目を受験した者 高等学校等の調査書の学習成績概評がA段階に属する者 高等学校長等が責任を持って推薦できる者	
出願要件 （地域枠のみ）	大分県内の小学校又は中学校を卒業し，大学卒業後，大分県のへき地の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者	一般枠と地域枠との併願は認めない
出願書類	高等学校長等の推薦書・調査書・特別活動に関する調査書	
第1次選考	推薦書及び調査書により，書類選考（一般枠は募集人員の約3倍，地域枠は約4倍）を行い，第2次選考の対象者を決定	
第2次選考	面接，大学入試センター試験の成績及び第1次選考結果を総合的に評価し決定	
	（面接の工夫等（地域枠のみ）） ・ 地域医療に関する資料（データ）・事例又は新聞記事等によりグループ討議を行う。 ・ 地域枠の集団面接員は，臨床の教員があたる。	
配 点	一般枠 国語 100 地歴・公民 50 数学 50 数学 50 理科 50×2 外国語 100 面接 300 調査書・推薦書 250 合計 1,000 点 地域枠 国語 100 地歴・公民 50 数学 50 数学 50 理科 50×2 外国語 100 面接 550 合計 1,000 点	

平成 22 年度以降のアドミッション・オフィス入試特別選抜（案）

	事 項	備 考
募集人員	30名（一般枠25名，地域枠5名）	
出願資格	平成20年3月以降に卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者 本学が指定した大学入試センターの教科・科目を受験した者 高等学校等の調査書の学習成績概評がA段階に属する者	
出願要件 （地域枠のみ）	大分県内の小学校又は中学校を卒業し，大学卒業後，大分県のへき地の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者	一般枠と地域枠との併願は認めない
出願書類	自己推薦書・調査書・特別活動に関する調査書（高等学校の特別活動並びに社会活動等その他の活動（3点以内）で，可能な限り活動内容及びそれを証明できるもの） （地域枠のみ） 大分県が指定するへき地医療拠点病院等の長等の評価書及び 実習感想文（へき地医療拠点病院の11施設に実習依頼予定）	
第1次選考	大学入試センター試験の成績により，第1次選考（一般枠約2.5倍，地域枠約4倍）を行い，第2次選考の対象者を決定	
第2次選考	面接，大学入試センター試験の成績結果を総合的に評価し決定 （面接の工夫等（地域枠のみ）） ・ 地域医療に関する資料（データ）・事例又は新聞記事等によりグループ討議を行う。 ・ 地域枠の集団面接員は，臨床の教員があたる。 ・ 大分県が指定するへき地医療拠点病院等の長等の評価書及び実習感想文を参考とする。	
配 点	一般枠・地域枠とも 国語 100 地歴・公民 50 数学 50 数学 50 理科 50×2 外国語 100 面接 550 合計 1,000 点	

平成 22 年度以降の前期日程 (案)

	事 項	備 考
募集人員	60名(21年度までの前期40名,後期25名から変更)	
第1次選考	大学入試センター試験の成績により,第1次選考(約3倍)を行い,第2次選考の対象者を決定 同点者がいる場合には,数学・数学A及び英語の高得点者を優先	
第2次選考 (個別学力検査)	理科(物・物,化・化,生・生から2科目) 数学(数・数・数・数A・数B・数C) 英語(英・リーディング・ライティング) 個人面接	
配 点	センター試験 国語 100 地歴・公民 50 数学 100 理科 100 外国語 100 個別学力 理科 200 数学 100 英語 100 調査書 50 面 接 200 合 計 1100	

大分大学医学部医学科 モデルカリキュラム表 新旧対照表

(現行)

年次	学期	授 業 科 目			
1年次	前学期	イントロダクトリーコースⅠ (一般教育概論, 健康科学概論, 早期体験実習)	外国語科目	身体・スポーツ科学 科目	教養・基礎教育科目
	後学期	外国語科目	身体・スポーツ科学 科目	教養・基礎教育科目	
2年次	前学期	外国語科目	教養・基礎教育科目		
	後学期	イントロダクトリーコースⅡ (分子・細胞生物学, 免疫生物学, 生命科学・病院内実習)	人体構造概略(正常編)		
3年次	1学期	人体構造概略(病態編)	免疫・血液	呼吸器	
	2学期	消化器	循環器	腎・泌尿器	内分泌・代謝
	3学期	運動器	皮膚	神経・筋	
4年次	1学期	行動・精神・心理	ライフサイクル医学	特殊感覚器・頭頸部	
	2学期	治療	周術期医学	社会医学	研究室配属
	3学期	イントロダクトリーコースⅢ (医療倫理・心理学, 医学英語, 社会医療, 検査・画像診断学, プライマリーメディカルケア, メディカルインタビュー, 身体診察)			
5年次	前学期	臨床実地修練			
	後学期				
6年次	前学期				総合講義
	後学期				

大分県地域医療研修会によるへき地医療実習

- 教養教育科目
- 専門教育科目
- 臨床実習

(平成21年度以降)

年次	学期	授 業 科 目			
1年次	前学期	イントロダクトリーコースⅠ(*1) (一般教育概論, 健康科学概論 , 早期体験実習)	外国語科目	身体・スポーツ科学 科目	教養・基礎教育科目
	後学期	外国語科目	身体・スポーツ科学 科目	教養・基礎教育科目	
2年次	前学期	外国語科目	教養・基礎教育科目		
	後学期	イントロダクトリーコースⅡ (分子・細胞生物学, 免疫生物学, 生命科学・病院内実習)	人体構造概略(正常編)		
3年次	1学期	人体構造概略(病態編)	免疫・血液	呼吸器	
	2学期	消化器	循環器	腎・泌尿器	内分泌・代謝
	3学期	運動器	皮膚	神経・筋	
4年次	1学期	行動・精神・心理	ライフサイクル医学	特殊感覚器・頭頸部	
	2学期	治療	周術期医学	社会医学(*2)	研究室配属
	3学期	イントロダクトリーコースⅢ(*3) (医療倫理・心理学, 医学英語, 社会医療 , 検査・画像診断学, プライマリーメディカルケア, メディカルインタビュー, 身体診察)			
5年次	前学期	臨床実地修練(*4)			
	後学期				
6年次	前学期				総合講義
	後学期				

大分県地域医療研修会によるへき地医療実習(*5)

早期外来ボラ
ンテイヤ実習

大分県知事による地域医療
特別講義

※ 朱書きは、今回緊急医師確保対策として、内容を充実するもの

- 教養教育科目
- 専門教育科目
- 臨床実習

- *1 イントロダクトリーコースⅠ … 「健康科学概論」において「大分県の地域医療の現状と問題」についての講義を実施
- *2 社会医学 … 「地域保健・医療に関する講義」を実施
- *3 イントロダクトリーコースⅢ … 「社会医療」において「地域保健・医療に関する講義」を実施
- *4 臨床実地修練 … 6年次の選択実習2週間を学外の医療機関で実施
- *5 大分県地域医療研修会によるへき地医療実習 … 2～4年次の学生への積極的な呼びかけを行う